

# 只野真葛を読む

～『独考（ひとりかんがえ）』から二百年～

200 年前、仙台に住むひとりの女性が、江戸の高名な戯作者滝沢馬琴あてに自分の作品を送りました。その人の名は只野真葛。

自由な生き方を選ぶことができなかった時代、〈男のように考える女〉（ベティーナ・グラムリヒ＝オカ「只野真葛論」）はどのように考え生きたのでしょうか。

そしてその作品は、今の時代に何を語りかけるのでしょうか。

200 年という時を超えて、只野真葛に会いに行きましょう。

1 6/23(土) 只野真葛と「独考」

2 7/7(土) 「独考」を読んでみよう①

3 7/14(土) 「独考」を読んでみよう②

各回とも 時間 13:30～15:00

場所 若林図書館 2F 視聴覚室

講師 早坂信子氏

聖和学園短期大学非常勤講師

定員 30 人

受付 6/9(土) 10:00 から

電話、ファックス、窓口で

お預かりした個人情報はこの目的以外には使用しません

若林図書館 仙台市若林区南小泉 1-1-1

電話 282-1175 ファックス 282-1176